

# わが家のインターネット奮闘記

Illustration : Sachiko Hiruma



主人公・箱根たまみ  
1965年4月生まれ。化粧品会社企画部勤務。ワープロ（書院）所有。パソコンもロータスクラいは使える（入力程度）。パソコン通信未経験。部長からインターネットを勉強しろとせつめられている。



たまみの夫・箱根くに丸  
1964年4月生まれ。食品メーカー物流部門勤務。98からマックに乗り換えた。ASAHIネットの古参会員でパソコン通信歴は長い。インターネットはブームで終わると思うと始める気がしない。

## 第4回 インターネットにつながってるってどういうこと？

前号までのあらすじ ① ASAHIネットに電話をかけてインターネットにつながり、ネットスクープ2.0というソフトを手に入れた箱根夫妻。ネットスクープにURLというものを入力してたまみも1人でホームページを見ることができるようになりました。しかし、インターネットのしゅみがまだよくわかりません。



### 近ごろ、くんちゃんの様子がおかしいんです

くんちゃんも私も1週間8,000円のおこづかいで昼食と交際、自分の買い物までまさせているはずなのに、近ごろなぜかくんちゃん羽振りがいい。この間も2日連続で友達と飲みに行って、さらに週末にはマックの部品（メモリーとか言っていました）を買ってきてホクホク顔でした。おかしいと思って問いただしてみたら、案の定、景気よくカードを使いまくっていたのです。それ以来、家に届く窓あき封筒の類は厳しくチェックすることにしています。そしてこの間の日曜の朝、その週にきた封筒を開けてみたら、とんでもないものが見つかりました。

「ガーン！なにこれー!?」「ど、ど、どうしたの？俺なんにもしてないよ……」

「電話代よー！14,616円！通話料が11,360円もかかっているよー！」

「あー、たまみちゃんだー！この間ユキちゃんに半日くらい長電話してたからだー！」

「そんなくらいじゃ11,360円なんかにならないわよ。だいいちあれはもっと前よ。先月分の料金に入ってるはずだよ！」

「うーん、やっぱり」「やっぱりって、なによ？」

「インターネットだよ」「えー！」

たしかに、この1か月私たちは夜な夜な“インターネット見物”に狂っていて、毎晩10時ごろから2時間はASAHIネットにつながりっぱなしにしています。くんちゃんの説明だと、それだと1万なにがしの通話料は楽勝でかかるということでした。そんなのはじめっから教えておいてほしかった……。

「そんなの俺が言わなかったってわかるじゃん。だいたいたまみちゃんのほうが面白がるくせに」ちょっと待った！ということは、ASAHIネットからもそれくらいの請求がきているはず。「くんちゃん、ASAHIネットの支払いしてるクレジットカードの明細を見せて」「見ないほうがいいよ……。あれ、なくしちゃったかなあ……」「見せてよー！」



出ししるくんちゃんからやっとカードの明細を奪うと、そこには“ASAHIネット33,400円”という信じられない文字が書かれていました。そしてその下には“かに御殿新宿店(仮名)

54,000円”という文字も……。



すなおにごめん。パソコン関係投資癖とオゴリ癖はなおさないとなあ。でも、マックのメモリー、だいいぶ安くなったし、買わないと最近のゲームソフトが使えないんだもん。しゅん……。



ちなみにいま海鮮を安くたらぶく食いたいなら、新宿西口のアイランドビルの“北海道”がイチオシ（ローカルネタですみません）。北海道の農家と漁師がどんどこ食材を送ってくる注目店なのだ。僕は偵察で行き過ぎているので、たまには別な店にと思ったのが大まちがひだった。





## インターネットのために 5万円も払うなんて！



平成イチネンには、金や不動産が余りすぎて少しは損をしなくちゃいけないと言って、いろんな会社が変なレストランをいっぱい作っていた。うちの会社はそういうシロート・レストランに食材を入れて儲かったんだけど、なんだか空しかった。同期入社の子はインターネットやらホームページがらみの仕事をさせていて、「あの頃と変わんない」とつばやしていた。



たまみちゃんが切り抜いた新聞記事にあった「TITAN」というホームページの検索サービスを使って“カニ”を探したら、宮城まり子さんの文章に子供の海岸の絵にカニがたくさん描かれていたというくだりがあって、そのカニでひっかかったのだ。小さいときカニの絵を描いたのは食いたいからじゃなくて、面白いからだったなあ。なんだか恥ずかしい。ちなみに“crab”で探したら、カニ星雲の話や画像がどっさり出てきた。さらに恥ずかしい。

**「た**

まみちゃん、まだ怒ってる～？」「当然よ！ いまどき1人1万円も2万円もかかるお店に行く人なんかいないわよ！ 平成イチネンじゃないのよ、平成ハチネンなのよ！」「ごめん」「しかもカニよ！私を差し置いてカニ食べてくるなんて！」「ごめん……」けんか結局、インターネットでどこからカニを取り寄せて、それはくんちゃんの貯金から払うということで収まりました。まあ、いいか。しかし問題の全部が解決したわけではありません。インターネットのために毎月5万円近いお金を払うというのはうちの体力を超えています。なにしろ食費削って貯蓄中なんだから！

**「あ**

ら？ なに見てるの？」「宮城まり子さんのねむの木学園のホームページ」「珍しいね。関心があるの？」「いや、いろんなホームページをキーワードで探してくれるサービスがあるんだけど、それでカニを売ってるところがないかなと思って“カニ”と入力したら、どういわけかここが出てたんだ。どうしてかなあ～って」「ふう～ん」くんちゃんてばびくびくしてるのかしよげちゃってるのか、何を聞いても元気がありません。

「あ、でもこれはすごいや」「なに？」「このホームページね、アメリカにあるんだよ」「え？ “インターネット”にあるんじゃないの？」「ほらほら、インターネットっていう“場所”はないんだよ。複数のコンピュータがつながった状態がインターネットなんだって、一番最初に勉強したでしょ。で、このホームページはアメリカに

あるコンピュータの中に収められた情報がインターネットをってうちのマックに表示されているってわけ」

「そっかー。じゃあ、いまうちのマックは、アメリカのどっかのコンピュータを動かしてるってこと？」「そういうこと」「すごい！ だけどどうしてアメリカのコンピュータだなんてわかるの？」「ネットスケープの上のほうにURLが出てるでしょ。この場合は、

“ <http://www.dhouse.toppan.com/tak/negai.html> ”だ」

「うん」「真ん中あたりに“com”ってあるけど、これは“アメリカがカナダの企業”を表しているんだ」「へえー！ いつの間にそんなこと勉強したの？」



インターネットマガジンの巻末に毎号赤地に黒い蜘蛛の巣が張ったような、電車の路線図のような、彼岸花のような絵がついてるけど、あれがそのつながり具合を表しているらしい。イシザカは毎月それを見て、どの道を通るのが効率がいいかチェックしているんだそうだ。





## ユーアールエルの意味は理解しておかなくっちゃ

「んちゃんによると、“URL”はちゃんと一定の規則にしたがって決められているそうです。私が日経流通新聞を切り抜いて集めていたときは、ただの暗証番号のようにしか思えなかったのに。少なくとも、それがコンピュータではなく人間に理解できるような種類の文字だとは思いませんでした。

「じゃあ、日本の会社はどうなるの?」「**co.jp**だよ。“co”が**commercial**で、“jp”が**Japan**」「あれ? アメリカはどうして“**co.am**”とか“**co.us**”じゃなく“**com**”なの?」「インターネットっていうのはそもそもアメリカが始まったもので、当時はアメリカ以外の国も加入するようになるとは考えなかったんじゃないかな。いまはアメリカとカナダ以外の国は、フランスなら“**fr**”、ドイツなら“**de**”とかとつけることになっているらしい」企業以外では、大学が**ac**、政府関係が**go**、特別なネットワークを管理している組織が**ad**だそうです。**academy**、**government**、**administration**の略ですね。

「MacTCPには確かASAHIネットを“**asahi-net.or.jp**”って書いたんだよね。**or**はなに?」「その他の組織。**organization**のことらしい。宗教法人とか社団法人とかそれからどういうわけか通信サービスも入っていてパソコン通信もだいたいみんな**or**みたいだよ」「そうか! パソコン通信は宗教団体と同じか。どうりで月に3万円も上納させるわけだ!」「本当だ。だけど通信の費用だけさ、いまこうしてアメリカのコンピュータにつなげている間でも電話代は

同じ市内のアクセスポイントにかけているわけだから3分10円でしょ。それにASAHIネットに払っているお金が1分10円で、合計すると3分間で40円ですんでいるんだ。国際電話

でアメリカにつないだら3分600円かかるんだから、そう考えると割安だとも言えるんじゃないかな」「うーん、確かにすごいとは思けど。どうかなあ…。ところで**com**の前の“**http://www.dhouse.toppan**”はどういう意味なの?」「**http**はつなぎ方とも言うが、**情報を受け渡すときの約束ごとの種類を表わしているんだ**。『**http**という方法で送りますよー』ってわけ。そのあとはインターネットにつながっているコンピュータの名前を特定しているんだ」【図1】「住所みたいね。じゃあうちのマックに名前をつけるとしたら、**hakone.or.jp**って感じかしら」「お、飲み込みがいいじゃん」ただし、ほかにも細かい決まりがあって、**hakone.or.jp**はしかるべきところに認めてもらわないと名乗れないんですって。インターネットにも仕切り屋さんがいるんですね。



go.jpなんてとこはあんまり縁がないんだけど、www.kantei.go.jpというのは見たことがある。最初に超重たい首相官邸外観の画像が出てむかつくんだけど、全然面白くなかった。その先がダンジョンで「オオクラが現れた! ダメージ6兆」なんて戦闘場面が出て、最終画面で「ハシリユ」と丁々発止なんて実態に即したものを求める。「ただいまの首相の席」なんて画像が出て、みんなで監視するってのもいいぞ。



1) 通信の方式      2) インターネットにつながっているコンピュータの名前      3) コンピュータの中のフォルダを指定

**http://www.dhouse.toppan.com/tak/negai.html**

通常はコンピュータを持っている組織の名前で表される。この場合はtoppan.comという会社のdhouseという部署にあるwww用のコンピュータという意味になる。4) フォルダの中の読み出すファイル指定



プロトコルっていうんだよね。httpのほかftp、gopher、nntpなどいろいろあるそうです。パソコン通信でなじみのXMODEMとかBPLUSとかってのはないのね。



日本ではJPNIC(日本ネットワークインフォメーションセンター)というのが神田のとあるビルの中にあるらしい。イシザカがhttp://www.nic.ad.jp/で組織の概要が見られると教えてくれた。ちなみに仕切っているというよりは出生届を出す市役所の窓口のようなものだそうです。akuma.or.jpとかって出したらもめるのかな。



## 部長、ホームページが見られるようになりました!

今度はほんと

**翌**日、私は部長に胸をはって「ホームページが見られるようになりました」と宣言すると、部長はこの間の私の失敗を思い出して、今度は「おーい」とみんなを呼ばず、「そうか、よし見せてもらおう」と立ち上がりました。「合掌」という感じでマグカップを両手で抱えている部長の目の前でいくつかのホームページを見せてあげました。そして、これまで勉強したインターネットのしくみを説明しようと思ったら、冷え切ったコーヒーをすすりながらマックを見ていた部長は「よし、箱根くん、ちょっと貸してくれ」と言ってマウスを取り上げると、そのまま昼過ぎまで延々とホームページを渡り歩いていました。途中一度だけ自分の席へ行って取り引き先へ電話をかけていましたが、それは「いやあ、いまネットサーフィンしてましてね、忙しいのでまた」と言うためでした。こういう素質があったとは。

**昼**食から帰ってきて、イサム部長はまだ「ネットサーフィン」しています。私はしばらくほっとして夏に発売する日焼け止めクリームモニター結果でもまとめることにしました。と、引き出しから書類を出したところで、後ろから「おーい、箱根く〜ん!」と声がかかりました。

**部**長、どうかしましたか? 「いや、まちがってインターネットの回線を切っちゃっ

たらしいんだ。もう1回つないでくれないかな」私はおあい御用と、configPPPを出して「こうするとマックがモデムを使って電話をかけますから...」と説明しました。すぐにつながって部長も「なるほどー」と唸っていましたが、どうも腑に落ちないという顔をしています。「ご不明な点がありますか?」「うん。つながるのはいいんだけど、なんでいちいち電話かけないといけないのかな?」「は?」「僕はパソコン通信もやったことがないから、とんちんかんなことを言っているのかもしれないけれど、インターネットをするためにいちいち電話をかけるということが納得できないんだ」「そうでしょうか?」「だって、わが社でホームページというものを作って誰かがインターネットでそれを見ようとしたとき、わが社のパソコンが電話を切っていたらどうするのかな」「なるほど」「この前の休みにインターネットカフェに行ってみたけど、電話をかけなくてもホームページは見れた」「はあ...」

**さ**すがイサム部長、みんなに悟られないように、こっそりインターネットのしくみを勉強していたようなのです。

インターネットマガジン / 株式会社インプレスR&D  
©1994-2007 Impress R&D



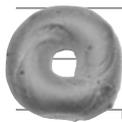
前々号を参照してください。たまみちゃんの早合点というか、思い込みの激しさは一流なのだ。新婚旅行のときなんかパスポートはとったもののビザというものを知らなくてあやうく……。あ、わかった、わかった、これ以上は言わないよ〜。



いるんだよな、ちょっと覚えるとすぐ自慢する人。ある日突然部下の前ですらすらとパソコン操ったり、英語しゃべりまくったり、華麗にスノボを駆る姿のビデオを見せなくなっちゃう人。怪我や心の病気のもどったりするからよしたほうがいいですよ。わからないことは素直に人に聞くなり、「そんなものできなくなつて死なない」と聞き直るほうがいいんじゃないかなあ。楽しくないことに一生懸命になる必要なんてないと思います、僕は。



やだなあ、インターネットカフェ。半年ぐらい前に週刊誌で騒がれ出したときは、こんなのすぐに消えると思ってたのに、いまじゃインターネットサウナとかインターネット靴屋とかあるらしい。何でもインターネットってつけられれば流行ると思ってるんだから。でも、そんなところに休みの日に行くなんて、なんだ、この人、実はけっこう楽しんでるのか。



# モデムで電話をかけなくても、インターネットができるのかしら

夫「イサム部長は鋭いなあ」

妻「そう？」



部長はたしかにインターネットが複数のコンピュータ同士をつないでいるものだとわかってはいるようで、あの後さらに私にこう言いました。「だいたい、いまこうして眺めているこのホームページを収めているコンピュータはどうやってインターネットにつながっているのかな。インターネットがこのホームページのコンピュータに電話をかけてつないでいるのかな」さすがイサム部長、私がかかるような質問はしません。しかし、もっと驚いたのは、部長が自分の席に去ったあとマックの周りを整理していたら、イサム部長が今日の日のために用意しておいたらしい、いろいろなホームページのURLを書き留めたメモが出てきたことです。そこにはライバル会社や通販をやっている会社の名前とURLがびっしり並んでいました。途中1つだけ社名がなくURLだけ書いてあるところがありました。昨夜以降の私にはURLの意味がたちどころにわかってしまいました。えへん。“http://www.playboy.com/”

だから、アメリカの一企業であるところのプレイボーイのwwwね。さすがイサム部長、一生懸命勉強している理由がわかったような気がしました。しかし、このURLだけは、くんちゃんには絶対教えてあげないわ。



夫「鋭いよ！ 実は今日イシザカに会ったんだけどさ、ヤツが言ってたんだ。“ダイヤルアップはかりそめのインターネットで本当のインターネットじゃない”って」

妻「ダイヤルアップってなあに」

夫「うちや、たまみちゃんの会社みたいにモデムとかを使って電話をかけてインターネットにつなげるということだよ」

妻「えー、あれインターネットじゃないの？」

夫「いちおうインターネットだけど、本物とは言えないんだって」

妻「どうして？ 月5万円も払って二セモノってのは許せないわ。で、どうしてイシザカさんに会えたの？ くんちゃんの会社のメディア室ってビルが違うんでしょ」

夫「実は今日、うちの会社の受発注システムに故障があっ

て、それを問い合わせにイシザカのところまで行ったんだ。そこでついでにうちの会社のコンピュータのしくみなんかについてあれこれ教わってきたんだけど、そうしたらなんと、うちの会社のホストコンピュータって、すでにインターネットにつながってるってことがわかったんだ」

妻「その“つながってる”と、うちや私の会社のマックの“つながってる”っていうのは違う“つながってる”なの？」

夫「そうなのですよ、たまみさん！ うちの会社のホストコンピュータは、24時間、一年じゅうつながってるんだ」

妻「えー！ それじゃあ電話代が大変じゃない！」

夫「その電話じゃないのですよ、専用線というのですよ。まあ、たしかになんだかんだで月額30万円くらいはかかるってことだけど」

妻「電卓、電卓！ 電話だと、24時間×60分÷3分×10円×30日で144,000円。電話の2倍くらいかかるんじゃない。なんでそんなにまで一日じゅうつなげておかないくちやならないの？」

夫「そのへんはイシザカが“そもそもネットワークというもの……”なんて、なんだか難しい話をしていたけど、僕もいま一つよくわからなかったんだよなあ」

妻「“そもそも”って話は難しそうね」

夫「よし。例によって、イシザカくんにもメールで聞いてみよう。えーと、『……なんで専用線なんて高いものをわざわざ使わなくちゃいけないのか、もう1回教えてください……』と、で、パソコン通信ソフトを立ち上げて……」

妻「あ、パソコン通信のソフトが電話かけてる。ダイヤルアップってやつね」

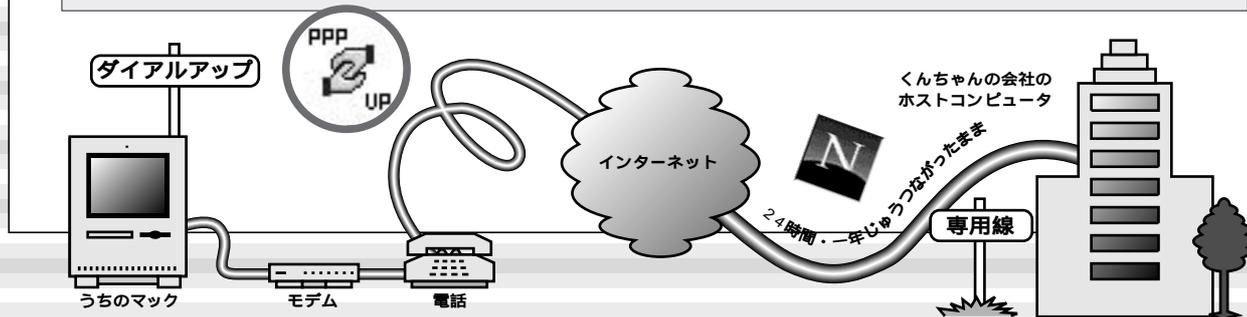
夫「そうそう」

妻「ふう～ん。電子メールってそうやって送るんだ」

夫「ネットスケープでもインターネットメールを送ることができるんだけど、やり方がまだわからないんだ」



電子メールを送るためにくんちゃんはパソコン通信のソフトを立ち上げました。configPPPを出してopenを押すことはしません。本当はそれでもできるらしいのだけど、私たちはまだ勉強していないのでわかりません。



妻「でも、ひょっとするとホームページを開くためにはうちの会社も専用線をつながなくちゃいけないのかなあ。月30万円で、部長が言った“ある程度使っていい”範囲のお金なのかしら？」

夫「どうかな。それを回収できるだけの営業ができるとなればGOサインは出るんじゃないかな。ただ、ホームページを持つだけなら、よそのコンピュータに間借りするってこともあり得るよ。たとえば僕らがホームページを作ってASAHIネットの中に置いてもらうということもできるし、いまはいろんな会社がそういう賃貸のサービスをやってるよ。自社で専用線をつなぐよりはずっと安くあがるはずだけど」

妻「なんだかお店のテナントみたい。インターネット不動産なんて仕事もありそうね」

夫「そうだなあ。うちの会社のハードディスクもかなりの容量が空いたまま眠ってるから、そこだけ誰かに借りてもらおうなんてこともできるんだろうなあ」

☎ --- RRRRR... --- ☎

妻「あれ？ くんちゃん、電話だよ。(ガチャ)もしもし.....。あ、こんばんは。.....えー！」

夫「どうしたの？ たまみちゃん」

妻「くんちゃん、イシザカさんよ」

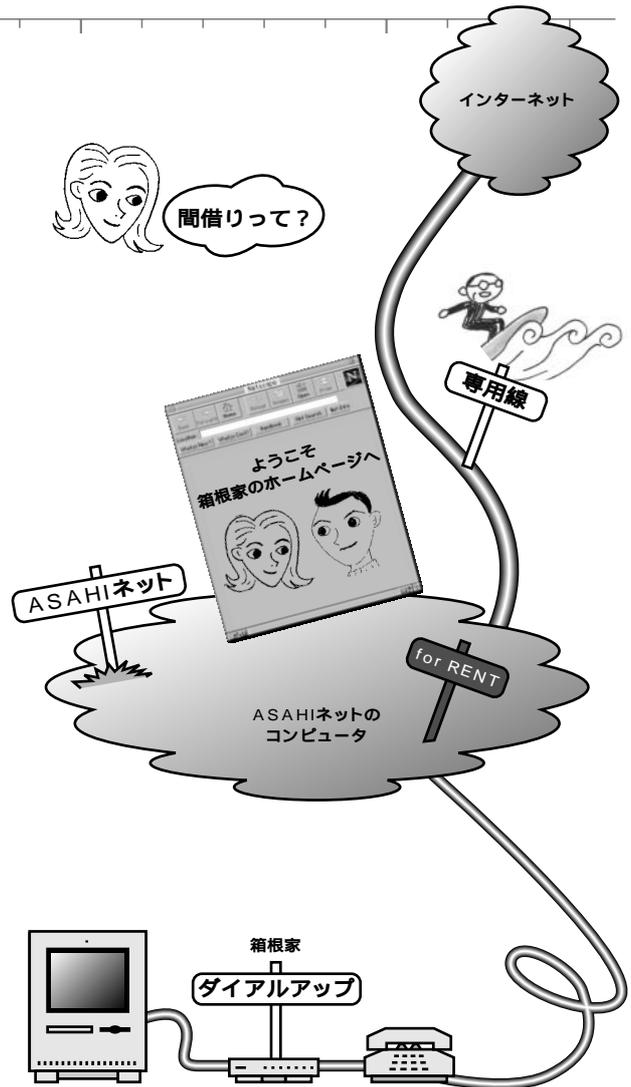
夫「へえー、タイミングいいなあ」

妻「イシザカさん、『いま電子メール届きました』だった！」

夫「えー！ なんでそんなすぐわかるんだ!? もしもし、くに丸ですけど.....」



イシザカさんは残業中で会社から電話してきたようです。電子メールって瞬時に届くものだと聞いていましたが、この素早い電話には驚きました。何かわけがありそうです。その話はまた次号で。



## 箱根家・今月の教訓

- 一、夜な夜なインターネット見物をしていると、莫大な電話代がかかる。
- 一、うちの場合、さらにその金額の2~3倍の金額をASAHIネットに上納しなければならぬ。
- 一、URLはてきとーに付けられているのではなく、意味のある部分の順序正しい集まりでできているから、それを見ればどこの国の、どんなことをしている、何という名前の組織のコンピュータにつながっているかぐらいはだいたいわかるようになっている。

- 一、カニは2人で食べなければならぬ。
- 一、インターネットにも仕切り屋さんはいる。
- 一、“ダイヤルアップはかりそめのインターネットで本物は専用線を使うもの”説が浮上。その説の根拠はまだ不明(いまイシザカさんに電話で聞いている)

byたまみ・くに丸



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)